

各 位

上場会社名	株式会社 ホロン
代表者	代表取締役社長 穴澤 紀道
(コード番号	7748)
問合せ先責任者	取締役総務部長 加藤 邦彦
(TEL	03-3341-6431)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	870	△264	△278	△287	△8,591.53
今回発表予想(B)	158	△629	△651	△664	△19,877.26
増減額(B-A)	△712	△365	△373	△377	
増減率(%)	△81.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	306	△326	△343	△409	△15,601.16

修正の理由

米国の金融危機を発端とする景気悪化の環境下、半導体業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続いております。このため、当社の取引先である半導体メーカーやマスクメーカーにおきましても業績の悪化から、当事業年度後半に予定していた開発投資計画を更に先送りする見通しとなりました。

このような状況のもと、当社は第4四半期にフォトマスク用寸法測定装置2台の販売を予定し、その内の1台はアジア向けでしたが、顧客の予算実行が先送りされたこと、もう1台につきましては、国内メーカーより受注し出荷いたしました。当社の作業遅れもあり、検収が期ずれしたため、今回の業績予想の修正に至りました。

また、平成20年7月に国内販売店経由で米国向けに出荷しております同装置1台につきましても、エンドユーザーの検収条件を満たす測定データが取得できずスケジュールを延長していることにより、検収完了が遅れ国内販売店への入金当事業年度内に確実とならず、当社の売上高は予想を大幅に下回る見通しとなりました。

この結果、損益面におきましても、売上高の減少により、営業損失、経常損失及び当期純損失は前回発表予想より拡大する見込みであります。

当社の製品は、装置1台あたりの販売価格が2～3億円と非常に高額であり、計画通りに販売できない場合、業績を不安定にするリスクが顕在しております。当社はこのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避もしくは発生した場合でも影響を最小限に止めるべく事業構造の体制作りにも努めてまいります。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上